

海上保安大学校創立70周年記念展示 第2期



大学校地誌 ～吉浦村池濱(生浜)の変遷～

写真提供:くれえばん

芸藩通志(1825年)より
吉浦村絵図
(三ツ石山拡大)

海上保安大学校の敷地は、明治中期以降太平洋戦争終了まで、海軍火薬庫、兵器工廠として使用され、戦後、当校が東京越中島から移転して来て現在に至っているが、海軍が来る前は、ここに集落があり、水場があり、神社をお祀りして、農耕と漁業に励む人々の姿があった。

この集落は「吉浦村池濱(生浜)」と呼ばれていた。



明治初期頃池濱想像図(学生作画)

場所:大和ミュージアム1階 ガイダンスルーム(入館料無料)

会期:令和3年11月20日(土)～令和3年12月27日(月)

展示資料: 生浜出土土器(吉浦市民センター展示品)
芸藩通志より吉浦村絵図(国立国会図書館アーカイブス)
明治初期頃の池濱想像図(当校学生作画)
若葉町航空写真(昭和30年頃)(呉市所蔵資料) など

昭和39年の大学校航空写真

